



ウンシュルトら『黄帝内経素問訳注』シリーズ

Vol.1 : Huang Di Nei Jing Su Wen. Nature, Knowledge (US\$75.00)

Vol.2 : Dictionary of the Huang Di Nei Jing Su Wen (US\$95.00)

Vol.3 + 4 : Huang Di Nei Jing Su Wen. Annotated Translation (US\$195.00)

全巻セット : US\$365.00

University of California Press

評・真柳 誠

(茨城大学大学院人文科学研究科)

2011年7月、米・カリフォルニア大学出版社から『黄帝内経素問訳注』が出版され、これでドイツのウンシュルト (Paul U. Unschuld) 教授グループの『黄帝内経素問』英訳注釈シリーズのすべてが完結した。当シリーズは史学・言語学も高レベルで、『素問』の全貌を英文に正確に反映し、欧米研究者が『素問』を理解するための独自の視点が多数ある。漢字圏の日本人にとって、本シリーズで『素問』を利用研究することはあまり現実的ではなかろう。しかし今後の欧米を中心とした世界における中国医学認識の基盤をなす書ゆえ、あえて本シリーズを紹介したい。

ウンシュルト氏は日本の東洋医学界でも知られる中国学研究者で、中国古医籍を40年あまり研究し、著書と訳書は約30点、論文は約120篇におよぶ。そして氏がここ約20年を費やした最大の力作が、本『黄帝内経素問』訳注シリーズ3書4冊である。

本シリーズの第1は『黄帝内経素問——古代中国医経の自然と知識』(520頁、2003)で、『素

問』学の導入に相当する。当書は『素問』の歴史・命名・版本、および歴代注釈を系統的に紹介。さらに『素問』の自然観・人体観・疾病観・養生思想、および各種治療法についても詳細な論説がある。とくに斬新な点は、当書後半の105頁にわたる「五運六気学説」で、中国古来の玄奥な運氣説をヨーロッパ語で初めて詳細に論じた。

その6年後に本シリーズ第2の『黄帝内経素問辞典』(812頁)が出版された。当書は『素問』にある1866漢字を見出しに、各字を含む約8800語句と所出部位を示し、各意味を英文で注釈する。これゆえ辞典と語句索引の両機能がある。また『素問』の全文、それを漢字のピンインと画数で検索できるCDも附録され、各字句の所出部位と上下の条文が容易に検出できる。英文で論文を作成する際には有用であろう。

今回出版の『黄帝内経素問訳注』(1552頁)2冊は当シリーズの核心かつ集大成で、王冰注『素問』計79篇の全文が翻訳される。翻訳にはヨーロッパ言語学の基準を厳格に適用し、ウンシュ

ルト氏が一貫して堅持する史学と人類学の方法を体現する。また語源と語境を究明し、『素問』の原義と旧貌を英文に最大限反映した。一方、『素問』の文辞は古奥で歴代の注釈と研究が著しく多いため、関連する歴代の研究成果と異なる見解を脚注に列記する。このためウンシュルト氏の訳注グループは、中国20世紀の論文約3000篇、中国・日本の過去1600年におよぶ約600種の注釈書と関連資料を収集・整理したという。これら資料の併用で原文の理解が深められるのみならず、歴代の研究で解明された多数の情報も提供している。当書にも附録CDがあり、参考文献と歴代の関連研究書が検索できる。

宝刀を研磨すること20年、ウンシュルト氏

の『黄帝内経素問』研究と訳注のプロジェクトはついに目標を達成させた。当シリーズは『素問』英訳の第一たるばかりか、豊富な内容と特徴は空前とっていい。ウンシュルト氏はドイツ人の謹厳実直さ、40年にわたる中国古医籍と思想史の研究に基づき、長期にわたる訳注の全過程で史学・人類学の方法を一貫させた。これが当訳注本の翻訳・読解および着眼などの諸面で、従前の諸書と異なることを決定づけている。

当シリーズは世界の研究者に中国医経の全貌を深く理解させるだろう。のみならず東西古代文化の比較検討に、多数のインパクトと信頼性の高い基礎文献も提供している。ウンシュルト氏および訳注グループの労を多としたい。



『黄帝内経素問—古代中国医経の自然と知識』



『黄帝内経素問辞典』